

実学「商い」の原点

後援：横浜市教育委員会

各回先着 **35** 名

平成 **26** 年 **6** 月 **7** 日 (土)
～ **7** 月 **19** 日 (土)

- 毎週土曜日 全 7 回
- 午前 10 時～12 時
- 会場：横浜商科大学
つるみキャンパス 122 教室
- 対象：一般の方、本学学生
- 受講料：全回申込 5,000 円
1 回のみ申込 1,000 円/回
本学学生は受講無料

■ 申込方法

裏面に住所・氏名・年齢・性別・電話番号・受講希望日を記載し、FAX または郵送してください。メールでのお申し込みも可能です。(件名は必ず「公開講座申し込み」にしてください。)

■ 受講料・申込締切

全回申込・5,000 円

- 申込締切 平成 26 年 6 月 5 日
- 事前にお申し込みいただき、受講料は初回に受付でお支払ください。

各 1 回申込・1,000 円

- 申込締切 各回の 2 日前まで
- 事前にお申し込みいただき、受講料は当日受付でお支払いください。

■ 本学学生の受講

本学学生の皆さんは「事前登録」により受講料が無料になります。右記 E-Mail アドレスに受講日・学籍番号・氏名を明記してお申し込みください。

【講座のご紹介】

近江商人は古くから「三方よし」の心得をもって「商い」を繁栄させた。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」である。この心得を成就した近江商人はさらなる信用を勝ち得た。前者二つは通常の商取引においてすぐにも納得できよう。「世間よし」は周りをも幸せにすること。「世間」=「社会」とすると、「商い」でもって社会を幸せにする、つまり社会貢献することになる。損得がある「商い」の場で双方が得になる方法は工夫すればなし得ることである。同時に社会貢献とは、なにを考慮すればそのようになるのか。

「観光」に例えてみると、旅行する人、受け入れる人、そしてこれらのことを企画する人がいる。それぞれ三者が「社会」を考慮してことを進める。社会・環境との関わり、(地域)社会貢献の必要性が唱える「サステナブル(持続可能)」の文句を冠した企画も見られるようになった。日本の伝統的な「心得」が 20 世紀末欧米からの「サステナブル」な発想に結びつく。世界遺産登録は文明・文化の維持・保存が目的であるのに観光ツアーと結びつけて考えられる。登録による「規制」は「サステナブルな社会」を可能にする条件であり、社会的にも受け入れられている。経済が優先して損得勘定が話題にあるが、守られるべきは維持・保存である。このことが社会貢献に結び付くと受け取られる。

近代以降、「個」の自立が前提になってきた。団体や集団で行動してきた社会から個人を優先するようになったのは近代社会の特徴であり、洋の東西を問わない現象である。その近代になって日本では集団から離脱して「個」による観光が始まった。物見遊山な「観光(Sight-seeing)」、苦勞する「旅行(Travel)」が気楽な周遊「ツアー(Tour)」として「旅=ツーリズム(Tourism)」が大衆化したのは 20 世紀からであった。「心の欲求」である「旅」をビジネスとして考えるようになったことも他面にある。日本人による造語「観光」を「ツーリズム」と結び付けた「観光庁」(Japan Tourism Agency)は、国際的な視野に立って「訪日観光客の誘致」による経済発展を画策する。

「旅」が経済、損得勘定ではなく、個人の「心の欲求」であると考える一方で、個人と集団(社会)との関わりも考慮しなければならない。今回の講座には、地域金融、和食の世界遺産登録、観光の本源的な意味、地域資源の活用、新興勢力の経済、心の問題、情報セキュリティ、各テーマの論者がいる。個と集団(個と社会)のそれぞれの役割を各分野で観察して、最終的に文頭に掲げた「三方よし」への理解が深まれば、幸いである。

(学術研究会運営委員長：渡部哲郎)

【お申し込み・お問い合わせ】

〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾4-11-1

横浜商科大学公開講座係(横浜商科大学図書館内)

TEL 045-583-9057 FAX 045-584-4870

E-mail:library@shodai.ac.jp

http://www.shodai.ac.jp

実学「商い」の原点

【時間は各回ともに 10:00-12:00 です】

開講日	講師	講義内容
① 6/7	可児滋 本学特任教授	中小企業金融の現状と革新 —21世紀日本経済を担う中小企業のファイナンス—
② 6/14	山上徹 梅花女子大学客員教授	和食の世界遺産登録と訪日観光客への対応
③ 6/21	岡田喜秋 作家、本学元教授	「観光原論」への視野 —21世紀のツーリズム—
④ 6/28	望月信幸 熊本県立大学准教授	地域資源を活用した地域活性化の戦略マップ
⑤ 7/5	ルイーズ・マルタ 本学講師	成長続くコロンビア経済、次のブラジルに？
⑥ 7/12	田端純一郎 本学講師	日本人のこころ —変遷と特徴—
⑦ 7/19	吉田隆弘 本学講師	情報セキュリティ技術の現状と課題および今後の展望

●生麦駅下車、徒歩約15分

●大口駅下車、徒歩約20分

●鶴見駅下車、西口バスターミナル3、4番より、
横浜駅西口行バス（市営38系統）、新横浜駅行、
または川向町行バス（市営41系統）で飯山バス停下車、
徒歩5分

●横浜駅下車、横浜駅東口バスターミナル15番より、
川崎駅西口行バス（市営7系統）、鶴見駅行バス（市営29系統）
で岸谷バス停下車、徒歩5分

●菊名駅下車、鶴見駅西口行バス（市営41系統）で
飯山バス停下車、徒歩5分

下記の申込書にご記入の上、FAXしてください。または、封筒に入れていただき、表面の住所に郵送してください。

FAX 045-584-4870

平成 26 年度横浜商科大学公開講座 申込書							
申込内容	全コース申込						
	任意の回のみ申し込まれる場合は、日付に○をしてください。						
	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19
住所	〒 -						
フリガナ							
氏名							
電話番号			年齢	歳	性別	男	女

メールでのお申し込みも可能です。件名は「公開講座申し込み」にしてください。E-mail : library@shodai.ac.jp